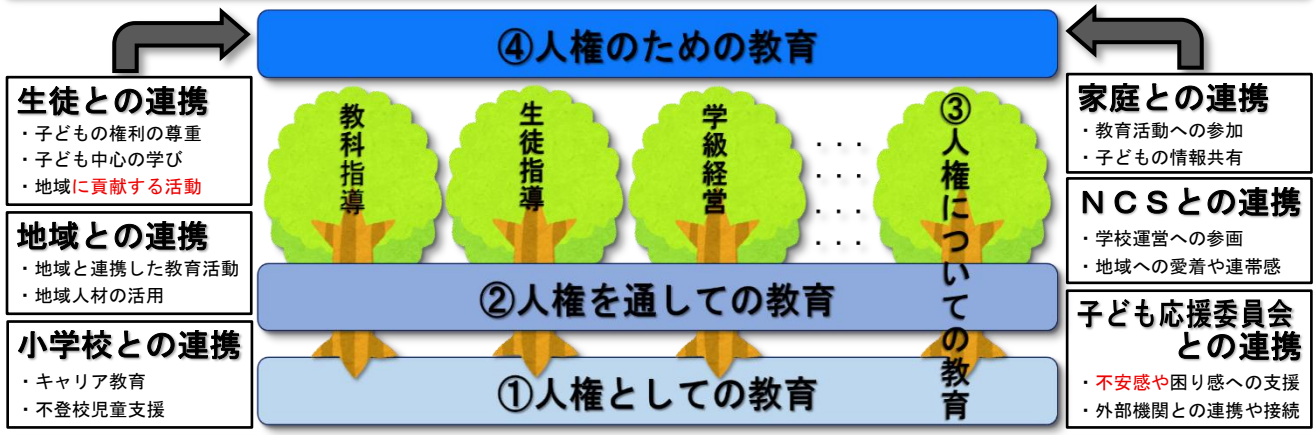
令和８年度　名古屋市立高針台中学校　グランドデザイン

## ＜学校経営方針＞
# 誰一人取り残すことのない学校づくり
## ～人権の視点を取り入れた教育活動を通して～




**① 人権としての教育**
「教育を受けること」それ自体が重要な「人権」であるとして、教育の機会を保障し、自己実現を可能とする力を育てる教育
- ありのままの自分を認める気持ち（自己肯定感）
- スマイルルーム、真澄ルームなど多様な学び方の保障
- 校則や学校生活の見直し、子どもの声を生かす取組　等

**② 人権を通しての教育**
教育活動において子どもの「人権」が守られ、かけがえのない存在として活躍できる環境が与えられる教育
- ありのままの存在を認める（基本的自尊感情）
- 日常の様子や各種アンケートの結果を踏まえた支援
- 子どもの居場所がある学級経営や安心して発言・挑戦ができる授業づくり　等

**③ 人権についての教育**
子どもたちが「人権」についての理解を深めることに留まらず、学習を通して「人権」を守る気持ちや振る舞いを身に付け、問題解決のために行動できる力を育てる教育
- 子どもの権利学習
- 様々な人権課題に関する学習　等

**④ 人権のための教育**
学校教育活動全体を通して、全ての人々の人権が尊重される社会の実現を担う人間として成長できる子どもを育てる教育
- 義務教育９年間を見据えたキャリア教育
- 地域と関わり、社会に貢献する活動（高中クリーンフェス）　等

## ＜学校努力点＞ 主体的に、探究する生徒の育成
### ～自分の考えをもつ活動を通して～

**○主体的に取り組むために**
- 単元を通して継続的に「自分で考えて行動する場面」を設定する。
- 課題を解決する方法を「子どもに考えさせる場面」を設定する。

**○探究する活動を取り入れるために**
- 「なぜ」そうなるのか、子どもたちが「自然と疑問をもつような課題」を設定する。
- 他者と共に調べたり、相談したりしながら「自分たちで解決できるような課題」を設定する。